

## 2009年度（平成21年度）第2回福山市入札監視委員会会議概要

### 1 会議名

2009年度（平成21年度）第2回福山市入札監視委員会

### 2 開催日時・場所

2009年（平成21年）8月18日（火）午後3時～午後4時30分  
福山市役所議会棟3階 第5委員会室

### 3 出席委員

中山委員，相原委員，三谷委員，西原委員，竹田委員

### 4 出席した職員

建設管理部長，建築部長，下水道部長，水道局業務部長，水道局工務部長，建設政策課長，契約課長，技術検査課長，設備課長，建設第1課長，建設第2課長，水道局経理課長，水道局配水課長

### 5 会議の概要

#### (1) 2009年度（平成21年度）の契約状況等について

契約課長から次のとおり説明を行った。

本年度6月末までの福山市発注分の入札件数は139件で，その落札率は，80.76%，水道局発注分は46件で，82.21%であった。福山市発注分について，2009年度の落札率の状況を2005年度と比較すると，6.7ポイント低下しているが，2006年度と比較すると，0.2ポイント，2007年度と比較すると，6.0ポイント，2008年度と比較すると，1.4ポイントそれぞれ上昇している。水道局発注分については，2005年度と比較すると，9.2ポイント，2006年度と比較すると，1.9ポイント，2007年度と比較すると，0.4ポイント，2008年度と比較すると，3.1ポイントそれぞれ低下している。福山市発注分の落札率が，2006年度から上昇した要因としては，2005年度から，公募型指名競争入札や条件付一般競争入札の対象を順次拡大したことにより，競争性が向上したものの，一方では，過度な低価格での受注による建設労働者や下請業者へのしわ寄せ等への懸念から，2007年度に低入札価格調査制度を廃止し，最低制限価格制度に一元化し，2008年度に，企業の健全経営に配慮する観点から，最低制限価格に係る経費分について算定基準を見直し，さらには，未曾有の経済危機に対応するため，今年度において，最低制限価格の更なる見直しを行ったことによるものであると考えている。今後については，今年度の最低制限価格の見直しにより，落札率は若干上昇するものと予測しているが，神辺町内の工事において，指名競争入札としていたものが，原則一般競争入札となることにより，公正性や競争性が向上するものと考えている。

(2) 抽出案件の選定理由について

相原委員から次のとおり説明を行った。

福山市発注分の条件付一般競争入札対象工事のうち、落札率が85%を超えるものから1件、予定価格が比較的高く、落札率も比較的高いものから1件、有効な入札が1又は2であったものから1件、昨年度までは指名競争入札の対象であったものから1件、水道局発注分からは、落札率が85%を超えた1件を選定した。

(3) 抽出案件の審議

- ア 福山市瀬戸町瀬戸西住宅地上デジタル放送設備改修工事
- イ 常石汚水幹線下水道築造工事
- ウ 中央ポンプ場ポンプ設備工事
- エ 円形管理設工事（都市第21-52工区）
- オ 海底管補修工事

アからオについて、契約担当課長及び当該工事担当課長が、それぞれの工事について説明を行った。

(4) 入札及び契約手続の運用状況についての報告

指名除外措置運用状況について、契約課長から取りまとめて報告を行った。

(5) 次回委員会の開催日時について

現在の委員の任期は、11月13日までのため、各委員の意向を確認し、今後の開催日程等については、事務局で調整する。

(6) 次回委員会で審議の対象とする工事の抽出方法について

次回の事案の抽出は、本年7月から9月分を対象とし、担当委員については、事務局で調整する。

6 発言の趣旨

主な質疑応答は、次のとおりである。

抽出案件の審議

ア 福山市瀬戸町瀬戸西住宅地上デジタル放送設備改修工事について

Q1 落札率が85%を超えるものは、5件あり、そのうち4件は、地上デジタル放送設備改修工事であり、入札参加者が極端に少ない状況にはなく、辞退や失格・無効もない中で、なぜ落札率が90%前後に集中したのか、市の見解を聞きたい。

A1 この工事は、2011年7月24日から、テレビ放送が完全デジタル放送になるため、当該市営住宅のテレビ共聴設備を改修し、デジタル放送及びアナログ放送を併用して受信できるようにするものである。施工にあたっては、入居者が日常生活している中での施工となるため、入居者の希望を優先し、場合によっては休日等の工事も予想され、請負者からすると、非効率な工程となることが予想される。また、入居者への周知文書の

配布、日程調整等に係る経費も予測されることから、このような落札率となったのではないかと考えている。

Q 2 地上デジタル放送を受信する設備を、税金を使って対応する理由・根拠は何か。

A 2 居住者の利便性向上を図る必要があり、かかった費用は、一部国の補助金もあるが、家賃に反映していく考えである。

Q 3 今回4ヶ所だが、あと何ヶ所あるのか。

A 3 テレビ共聴システムがあるのは30団地である。

Q 4 入札結果を見ると、他の工事が100円台までの細かい金額で入札されているのに比べて、金額が揃いすぎており、あらかじめ落札者が決まっていたかのように思える。

A 4 電気通信工事については、材料費の占める割合が高く、認定業者数も24社と、他の業種に比べ少ないことなどの要因から、今回の状況になったのではないかと考えている。

○ 全施設の発注が終わった段階で、入札結果の一覧を提出してほしい。

#### イ 常石汚水幹線下水道築造工事について

Q 5 このような高額案件については、比較的体力のある業者が応札するものと思われるため、一律的な最低制限価格を適用するのではなく、別の方法も考えられるのではないか。

A 5 最低制限価格制度については、本年4月に基準の見直しを行ったところであり、国や広島県も同様の積算方式を採用しており、今後の推移を見守りたいと考えている。

#### ウ 中央ポンプ場ポンプ設備工事について

Q 6 今回の福山市分の対象工事のうち、有効な入札が1～2件であった事案が中央ポンプ場関係の3件のみであり、いずれも高額案件であるにもかかわらず、落札率は80%前後に落ち着いており、入札失格数も勘案すると、最低制限価格ぎりぎりでの攻防があったものと推察される。ただし、これら3件がいずれも中央ポンプ場関係の工事であることから、この点について市の見解を聞きたい。

A 6 今回のような大口径のポンプは、独自に製作する必要があるため、製作可能なメーカーは全国的にも限られる。また、大規模ポンプ製作の発注案件は全国的にも少ないため、メーカーとしても大規模工事の受注実績確保の観点から、是非受注したいとの意欲を示し、このような入札になったのではないかと考えている。

Q 7 他市において、案件によっては、最低制限価格を設定しない等の取扱をしている所があるか。

A 7 中核市においては、そのような対応をしている都市はない。

○ 案件に応じて最低制限価格の算出基準を変えるなどの方法を検討してほしい。

#### エ 円形管理設工事（都市第21-52工区）について

Q 8 昨年度末までは、合併特例で神辺町内で施工される一定額以下の工事は、指名競争入札の対象とされており、落札率の高止まりと、その要因として競争原理が十分に働いていない状況が推認されてきたところであるが、本年度からはそれらも条件付一般競争入札の対象とされている。今回の福山市分及び水道局分の対象工事のうち、前年度であれば指名競争入札の対象となっていたはずの神辺町内の全案件について、それらの落札率

は79.5%から82.7%の範囲内にあり、予め期待していたところではあるが、神辺町以外のそれと同じ水準まで落ちている。なぜ、過去3年間は、90%以上の落札率であったのか、市の見解を聞きたい。

A8 昨年度までの入札結果については、地域を限定しての指名業者の選定というところに一部課題があったのではないかと考えている。合併の特例措置については、合併に際しての合併協議会の中で決定されたものであり、これまでの合併においても、入札・契約制度を含め、様々な制度の激変緩和のため、このような措置がとられたものである。今後においては、神辺町内の工事においても、競争性が向上していくものと考えている。

Q9 円形管理設工事の入札参加者が多い要因は何か。

A9 ダイレクト型の入札方式では、落札候補者のみが資格確認の書類を提出する事後審査型となり、業者にとっては、事前の書類提出が不要となり、より参加しやすくなったことが要因の一つと考えている。

#### オ 海底管補修工事について

Q10 今回の水道局分の対象工事のうち、落札率が唯一85%を超えており、入札参加業者数が3社と比較的少なく、工事の難易度にその理由があるのか、市の見解を聞きたい。

A10 この工事は、福山港の海底に布設している送水管を改修するもので、昨年度において同様の案件では10社の参加があり、今回も同等程度の参加者数を想定していた。工事内容は、海中部分の掘削・埋戻しを行うため、グラブ浚渫船を使用して、海上より施工するものであり、潜水士による作業も要するため、これらの特殊性により、参加者が少なかったのではないかと考えている。